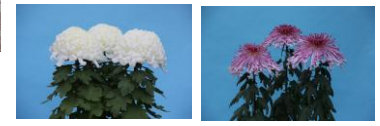
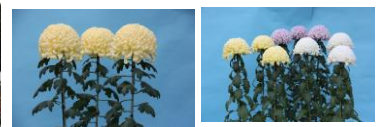


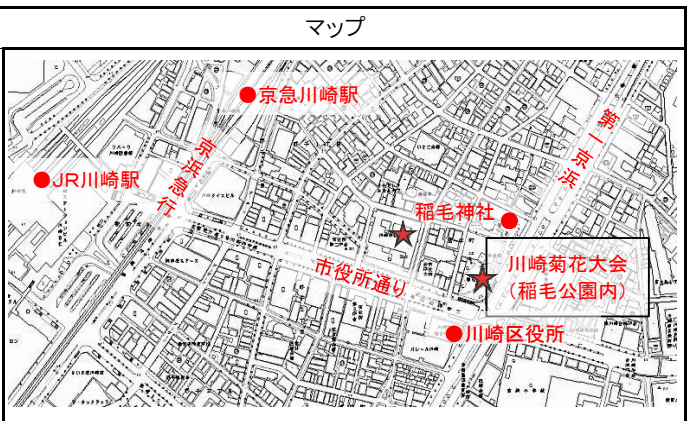
かわさき区の宝物シート

宝物No.	かわさききつたたいかい 川崎菊花大会		
1-18			
エリア	中央地区 川崎駅前北	シーズン	秋
		日時	10月下旬～11月中旬
目的	<input type="checkbox"/> 観る <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他		
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input checked="" type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input checked="" type="checkbox"/> にぎわい <input checked="" type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物		



写真提供：関東川崎菊花会

所在地	川崎区宮前町7（稲毛公園）
問い合わせ	関東川崎菊花会 理事長 元植泰男
TEL	045-901-8166
FAX	045-901-8166
E-mail	y-motoue @dn.catv.ne.jp
URL	
交通	JR川崎駅・京急川崎駅より徒歩10分 またはバス8分「宮前」よりすぐ



※川崎市の承認を得て同市発行の都市計画基本図を複製したものです。
承認番号（川崎市指令ま計第159号）

基礎情報

■昭和27年(1957)より行われている、川崎市最大の由緒ある菊花展。年1回、毎年10月下旬頃からの約1ヶ月間、「関東川崎菊花会」会員が丹誠を込めて育て上げた作品の品評会が盛大に催され、晩秋の稲毛公園に彩りを添えている。

由来・エピソード

■関東川崎菊花会を主催するのは、川崎市在住の方を中心に横浜市、東京都などから会員約40名によって組織される「関東川崎菊花会」。出品物は盆養花（三本立・組鉢・七本立）、盆栽、だるま作り、福助作り、ドーム菊、スプレー菊、切花などに大きく分類され、それぞれに厳しい規格や審査が設けられているが、総勢約400点にもおよぶ出品数を誇っている。表彰式は12月下旬に行われ「内閣総理大臣賞」「文部科学大臣賞」「農林水産大臣賞」「環境大臣賞」「厚生労働大臣賞」「県知事賞」「市長賞」をはじめとする多くの特別賞が授与される。

■日本固有の文化である菊作り。菊づくりは、花づくりの中でも特に手が掛かり、思い通りの大輪を咲かせるために日々の心を込めた丁寧な世話が必須であるという。菊は1年花であり、今年秀作ができて来年同様な花が咲いてくれるとは限らない。その分やりがいはいはと大きく、毎年秋には愛好家たちによる菊花展が全国いたるところで開催されている。

補足・その他

関連シート

(1-17) 旧六郷橋親柱(稲毛公園)